道路パトロール隊

道路パトロールってなに?

人や車がいつでも安全に道路を通ることができように、こわれているところがないかや、落ちている物がないか、道路でやってはいけないことをしている人がいないかなどを見回りするのが「道路パトロール」です。

道路パトロールカー

パトロールは、出張所の職員 2 人が黄色のパトロールカーに乗って行います。パトロールカーには、パトランプ(車の上にある赤いランプや黄色ランプ)、アナウンスするためのスピーカー、電光表示板(「落下物処理中」や「路上作業中」などと、作業内容を表示します)、K-COSMOS(ケーコスモス)という国土交通省専用の通信回線の機能が付いています。

道路がこわれた場所へ急いで行くときには、パトランプを回してサイレンを鳴らしながら走ります。その時には、警察のパトロールカーや救急車と同じように、赤信号でも優先的に通ることができます。

パトロールの種類

■通常巡回	(週6回) 災害などがおきていない普段行うパトロール。 道路上に落下物がないかや、道路が汚れたり壊れたりしているところはないか、車がスムーズに流れているかなどを点検します。
■夜間巡回	(月に 1 回) 夜に行うパトロール。 消えている道路照明灯がないかや、道路標識が見えにくくなっていないかなどを点検します。
■異常時巡回	大雪や大雨、地震などの災害で、道路に異常がないか点検する注意体制・警戒体制・非常体制の場合に行うパトロール。

パトロールに必要な道具

車には、パトロールに必要なさまざまな道具が準備されていて、道路に異常があった時は事故につながらないように対応します。

～パトロールの主な道具～	
カラーコーン	交通規制をしたり、注意をうながすために様々な使い方をします。
竹ほうき	事故で飛び散ったガラスの破片などを集めるときなどに使います。
道路補修材	道路に空いた穴ぼこを埋めるときに使います。
誘導棒	交通誘導をするときに使います。
スコップ	土砂を取り除いたりする時などに使います。

このほかにメジャーやデジタルカメラなども準備しています。
また、パトロールをする道路巡回員は、ヘルメットをかぶり、安全チョッキや安全靴、軍手などを身につけます。